【石鎚森の学校】
VOL.21
2025年度号

発行日　2025年12月
制　作　NPO法人 石鎚森の学校
〒793-0062
西条市西田甲797番地
Tel＆Fax 0897-52-5275
URL https://ishizuchi.net/

特定非営利活動法人 石鎚森の学校
法人設立20周年を迎える！

NPO法人石鎚森の学校は、石鎚山系の森林を舞台に、森林の保全、自然観察、自然の中での音楽やスポーツなど、森林と人を育てる機会を創造することにより、人々が森林の多様な価値を認識することを促し、もって森林と人が共生する環境づくりに寄与することを目的とし、この目的を達成するため約20年間活動を続けてきました。

次の年表にてNPO法人石鎚森の学校設立20年の歩みを特集記事として、森の学校主催の事業を始め、総会資料・活動報告書を基に一部抜粋し、数多くの事業をご覧いただきたく数号に分けて振り返ってみたいと思います。

＊ ＊ ＊ご支援ありがとうございます＊ ＊ ＊

石鎚森の学校は20年目を迎えました。当団体の活動は、皆様のご参加・ご協力ならびに、会員の皆様の会費・寄付金などに支えていただいており、心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。新規のご入会もお待ちしています。

正会員56名／年会費5千円
賛助会員40名／年会費3千円
団体会員3団体／年会費3万円
（令和7年7月末現在）

団体会員様（順不同）
セキ（株）
（有）石鎚観光
（株）愛媛銀行

設立20年の歩み その①（平成17年～平成22年）

平成17年

10月9日　自然学習会　参加者23名
10月10日　水源の森コンサート
10月23日　森のクラフト教室　参加者150名
10月23日　森林ボランティア体験　参加者20名
10月23日　石鎚修験道体験　参加者13名
10月30日　自然学習会　参加者36名
12月24日　石鎚森の学校新聞VOL・1 秋冬号発行以降、毎年発行し、昨年20号を発行しました

平成18年

3月18日　石鎚森の学校設立総会開催
3月30日　愛媛県が法人設立認証申請を正式受理
5月27日　石鎚森の音楽教室　音楽ワークショップ　参加者50名
6月3日　留学生石鎚山修験道体験　参加者11カ国19名
7月3日　愛媛県より法人設立認証の通知を受ける
7月6日　理事会開催
7月7日　法人設立登記
7月29日　自然観察会　参加者29名
9月23日　森林保全活動　参加者18名
9月24日　修験道体験　参加者9名
10月1日　ホームページ開設
10月7日　いのちの大収穫祭　石鎚山コンサート「出演」山根麻以＋Visions
10月8日　瀬戸内スローツーリズム　キックオフツアー一日目
十六夜神楽
「出演」池川神楽保存会（国指定重要無形文化財）
夢華神楽社中（石見神楽・創作神楽）
「特別ゲスト」山根麻以＋Visions
10月9日　瀬戸内スローツーリズム　キックオフツアー二日目
石鎚山 自然観察会　参加者6名
石鎚山頂上登拝　参加者42名
11月14日　坊っちゃん劇場　修験道体験　参加者6名

平成19年

2月26日　臨時総会開催
5月26日　奥久谷ほたるの夕べコンサート
5月29日　通常総会開催
7月10日　ロスコンドルス・坊っちゃん劇場
夏山開き大祭にて演舞奉納
7月14日　松山大学講義　人間関係・キャリア形成講座
『石鎚文化研究グループ』
参加者10名
8月12日　石鎚山 納涼夜神楽大会２００７
「出演」夢華神楽社中（石見流神代神楽・愛媛県西条市）
池川神楽保存会（国重文 土佐神楽・高知県仁淀川町）
高井神楽団（石見流スーパー神楽・広島県広島市佐伯区）
8月29日～9月2日　北海道：知床半島・秋田県：わらび座
9月12日　松山大学学生 石鎚修験道体験　参加者24名
10月21日　石鎚水源の森に緑を！２００７
石鎚山成就地区にヤマザクラ等の苗木合計400本を植樹　参加者69名
11月11日　えひめ山の日に森へ行こう　参加者40名

平成20年

2月1日～2日　石鎚能『能楽市民講座・ワークショップ』
2月16日　平成19年度文化庁
舞台芸術の魅力発見事業
霊峰に舞う 新春壽「石鎚能」
6月7日　自然観察＆お山で歌おう！
参加者41名
6月8日　奥久谷ほたるの夕べコンサート
6月24日　山根麻以＋Visions アサヒビール
10周年記念イベント・ライブに参加
「森に感謝、人に感謝、水の都で愛を唄う！山根麻以＋Visions ありがとうコンサート」参加者260名
7月10日　夏山開き奉納式と神迎え行事
8月9日　石鎚いのちの森 Live２００８！
1、描くいのちの森
「アーティスト智内兄助さんと描く石鎚」
2、観るいのちの森
「石鎚フレッシュ アート コレクション」
3、聴くいのちの森
「石鎚サウンド・コレクション」
☆描くいのちの森「石鎚山フォレスト・アートピクニック」
参加者 県内外の小中学生及び引率者など120名
8月10日　☆描くいのちの森「高校生シャッターアートライブ」
10月19日　石鎚水源の森に緑を！２００８　参加者34名
11月3日　石鎚森の学校２００８！森林保全活動　参加者16名
11月8日～18日　☆観るいのちの森「石鎚フレッシュ アート コレクション」
☆描くいのちの森「絵画作品・写真パネル展示」
☆聴くいのちの森「石鎚サウンド・コレクション」
【第一部】南海放送ラジオ公開生放送 13時～15時
【第二部】左手のピアニスト・智内威雄氏のピアノコンサート
11月8日

平成21年

2月21日～22日　県民参加の森づくり活動安全研修受講（チェーンソー扱い研修）
4月9日　古道調査
「石鎚森の学校 石鎚古道をゆく」取材及び連載開始
4月23日～24日　研修・視察
☆高知県四万十川流域へ
5月27日　理事会及び通常総会開催
6月3日　古道調査
「石鎚森の学校 石鎚古道をゆく」取材－2
7月10日　石鎚お山開き 奉納式と神迎え行事
8月8日　石鎚森の学校２００９初夏☆自然観察＆お山で歌おう！☆
参加者48名
8月16日　古道調査
「石鎚森の学校 石鎚古道をゆく」取材－3
9月22日～24日　フォレスト ミーティング２００９
「千年の森に集う」全国大会in石鎚
◆22日　講演・シンポジウム
ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）
◆23日　分科会
にぎたつ会館（松山市道後）
◆24日　オプショナルツアー
①石鎚山成就～山頂
②久万高原町～土小屋
10月12日　石鎚森の学校２００９
☆森林保全活動☆　参加者23名
10月28日　古道調査
「石鎚森の学校 石鎚古道をゆく」
取材－4
12月14日　石鎚山トイレ問題検討委員会開催

平成22年

2月13日～14日　石鎚森の学校２０１０☆冬☆氷点下の雪の森で♪　参加者43名
4月26日～27日　石鎚山・成就宿泊Go！Go！Plan（株）愛媛銀行　参加者66名
以降、コロナ禍まで毎年開催される
5月19日　理事会及び通常総会開催
5月29日　石鎚の神に捧げる古典フラ
カヒコ奉納式
6月1日～4日　視察・交流 岩手県・早池峰山登山
石鎚山トイレフォーラムに向けて
6月20日　フォレストミーティング２０１０
石鎚山トイレフォーラム　参加者約100名
7月10日　石鎚お山開き 神迎え行事！
8月7日　吉岡小学校（西条市内）自然観察＆
石鎚山頂登山をガイド
8月8日　石鎚森の学校２０１０夏
☆自然観察＆お山で歌おう！☆　参加者46名
9月18日　石鎚登山クリーンアップキャンペーン
愛媛県初の試み！「石鎚山携帯トイレデー」実施
10月11日　石鎚森の学校２０１０☆森林保全活動　参加者18名
11月7日　石鎚山7合目 石鎚神社中宮成就社に大絵馬奉納
合わせて劇団わらび座の役者さんがご祝儀の歌舞を奉納♪

石鎚森の学校2024 高縄山エコツアー

令和6年度愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会エコツアー委託事業

令和6年11月10日(日)
【場　所】高縄山(松山市)　【主　催】愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会
【運　営】NPO法人石鎚森の学校
【講　師】松井 宏光 氏(愛媛植物研究会 会長、NPO法人石鎚森の学校 理事)
【参加者】スタッフ関係者含み23名

前回の成就地区森林保全活動に続き、2回目の愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会主催によるシカの食害エコツアー事業を松山市の高縄山で行いました。

愛媛に住んでいながら初めての高縄山登山。登山の楽しみと参加者が予定よりも多く集まり嬉しさが込み上げる中での開催となりました。

今回は、小学2年生から年配の方まで老若男女様々な方にご参加いただきました。開会式で今回の開催主旨を説明し、参加者の自己紹介を行い、早速、高縄山の頂上展望台に向けて散策しつつ自然観察が始まりました。太陽の光で木の葉が照らされ色合いが更に美しくなり、目を楽しませてくれます。

その登山道中、下草がシカに食べられ土が見えているところが広がり、松井講師からシカが食べる植物と食べない植物の違いなどの説明を所々でお話しいただき、頂上展望台に到着。360度のパノラマの景色を楽しみ下山しました。下山途中には、スギの枝が上に伸びている千手スギや高縄寺を見学し、一行は高縄山総合作業所へ。

午後からは建物の中でシカクイズを行いました。シカの前歯が生えているのは、上だけ?下だけ?などシカについての知識を広げました。その後は松井講師から愛媛県内のシカ被害の分布図や植生の保護方法などをお話しいただき、防鹿ネット張りのボランティアの協力などもお願いしました。

そして遊歩道を散策しつつ自然観察、シカの痕跡などを確認し、総合作業所にて閉会式。参加者の感想はアンケートに記入してもらい、解散となりました。

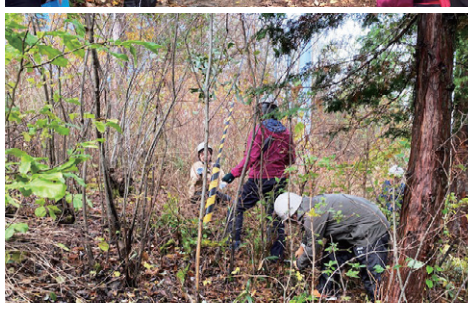
石鎚森の学校2024 森林保全活動in石鎚山成就地区

令和6年度愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会エコツアー委託事業

令和6年11月7日(木)
【場　所】石鎚山成就地区　【主　催】愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会
【運　営】NPO法人石鎚森の学校　【特別協力】石鎚神社
【講　師】曽我部 英司 氏(NPO法人石鎚森の学校 理事)　【参加者】スタッフ関係者含み11名

今回、恒例の成就地区森林保全活動に併せ、愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会主催によるシカの食害エコツアー事業を行いました。

この協議会は昨年4月に設立され、当法人は「人材育成・普及啓発部会」に所属し、本年、年2回登山道を散策しながら動植物の観察やニホンジカによる植生被害について学ぶエコツアーを実施することが決まっており、1回目は森林保全活動に併せての実施の運びとなりました。



当日は天気には恵まれましたが、一昨年とは違い気温の低い中での活動となりました。

ロープウェイ山頂成就駅内で開会式を行い、参加者全員に自己紹介をしてもらいました。県自然保護課からも4名来られ、石鎚山が初めてという方も。

まずは自然観察をしつつ登山道を進みました。曽我部講師が面白可笑しく自然や植物について話をし、参加者も和気藹々と大変雰囲気も良く、楽しい自然観察となっていましたが、その道中のリョウブの木には多くのシカによる皮剥の跡がありました。夏の自然観察会の時には無かったところまで被害が広がっており、早急の対策が必要だと参加者一同感じた次第です。

その後は森林保全活動として、石鎚神社成就社境内にかつて植樹したヤマザクラ周辺の雑木や下草の小枝を払い、サクラに陽が当たるように作業を行いました。

閉会式はドウダンツツジに囲まれて、それぞれ参加者から「本日を振り返り、普段何気なく山登りをしているなかで、ここまでシカの被害が広がり迫っていること、山を護る、植物を護る為に何が出来るか考えさせられました」と感想を頂きました。

愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会／令和6年度 活動報告会 愛媛県のニホンジカ問題のこれまでとこれから

令和7年2月14日(金)
【場　所】テクノプラザ愛媛本館・テクノホール／愛媛県東温市　【事務局】愛媛県自然保護課

従前の「愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会」より、昨春ニホンジカの獣害問題等全県へ対応する協議会へ組織編成をした初めての標記会合の活動報告会が開催されました。

本会の会長・山内重宣氏(愛媛県自然保護課長)の挨拶に始まり、調査部会長・山本貴仁氏(特定非営利活動法人西条自然学校理事長)、人材育成・普及啓発部会長・渡邉敬逸氏(愛媛大学社会共創学部・准教授)、保全計画部会長・松井宏光氏(愛媛植物研究会 会長・NPO法人石鎚森の学校理事)よりそれぞれ報告されました。本会の目的はシカを直接捕獲するのではなく、近年の県内におけるニホンジカの生息範囲の拡大に伴って、希少な植物等が食害を受けていることから、具体的にはその植生の調査や人材育成・モニタリング・普及啓発・防鹿ネットの設置等を実施し、植生保全に取り組んでいます。

石鎚森の学校2025 氷点下の森の自然観察&雪遊び

令和7年2月11日(火・祝)
【場　所】石鎚山成就地区(松山市駅発ー西条市内経由、西之川まで送迎バス運行有り)
【講　師】北添 伸夫 氏(昆虫・天体のプロカメラマン)　【主　催】NPO法人石鎚森の学校　【特別協力】石鎚神社／境内地借用
【協　力】面河渓を愛する会、石鎚みやま会、石鎚登山ロープウェイ㈱　【ツアー実施】㈱国際旅行　【参加者】合計20名(事務局含み)

今年も行いました、冬のイベント!

しかし例年は一泊二日での開催。今回は事務局の都合で一日のみの開催となりました。また、例年は企業からの基金を頂きながら開催していましたが、今回は助成金の申請は行わず開催することとなり、親子割など考えながら参加費など負担を少なくしていこうとしましたが、参加の皆様には諸々ご負担をお願いすることになりました。まず以てご協力に感謝申し上げます。と共に、その中でも15名の参加をいただきましたこと、厚くお礼申し上げますm(_ _)m

昨年は雪不足に悩まされ、重機を使って雪を集めなんとか開催できた…そんな不安もありましたが、今年は例年にない雪の多さ。嬉しさ一杯の中での開催となりました。

雪が多かったのでロープウェイはスキー客で混雑し、臨時便を出して運行していただきました。駅のエントランスで受付を行い、すぐ上の広場に集まり開会式で自己紹介を行いました。

初めて参加の人、毎年参加の人、様々でしたが、始めは緊張の面持ち(*^^*)さあ、イベントの始まりです。

例年リフトで成就地区を目指していましたが、リフトの上に到着した後の道中は人の手が入らず雪が腰くらいまであるため断念。皆で登山道を進みながら自然観察をしつつ動物の足跡を探しました。道中にはウサギの足跡がたくさん見つかりました。

成就地区に到着。すると…すぐにスコップを持ってカマクラを作り始める毎年参加の人達、ソリで滑りやすいところを探す子供、2歳の子供は寒くてストーブで暖を取り、スノーシューで積もった雪の上を歩く家族。午前の1時間があっという間に過ぎていきました。

食事を済ませ、旅館の中でこれも恒例のウルトラクイズ大会。石鎚山系に熊は居るか、シカの生態、シカの食害、石鎚に関するクイズで少し勉強会を行い、午後のスケジュールに移りました。

午後からは引き続き雪遊びグループと神門から石鎚山参道の遥拝の鳥居まで散策するグループに分かれ1時間半の時間を過ごしました。

シャボン玉は凍りませんでしたが、屋根の上以上に飛び続けていました。少し凍っていたのかな…?

毎年で慣れている人は凄いですね。子供4人が入れるカマクラを完成させました。

下山の時間になりましたが、集合写真、カマクラで撮影会が行われ、名残惜しそうに皆さん下山されました。

下山時もロープウェイさんのご厚意をいただき臨時便で対応して頂きました。ありがとうございました。

閉会式では、皆さん満足したお顔で、楽しかった、また来たい、などの感想もいただけたこと、事務局としては嬉しい限りです。その中には来年はこれまで通り一泊二日で開催して皆と楽しみたい、との感想もあり、来年に向けて出来得る内容を考えていきたいと思いました。

ご参加いただきました皆さん、ありがとうございました。